

<令和3年度 研究発表会開催要項>

日 時：令和3年11月15日（月）

場 所：ホテルアウヰーナ大阪

発表校：大阪市立大和川中学校（大阪市住吉区）

テーマ：平和維持教育 ～いのちを考える学習～

**【重点を置いた活動】**

～集団「公」動～ 公の場でも他者を意識して「考」動すること

**（実施要領）**

- ・旅行先 熊本県益城町・八代市、鹿児島県南九州市知覧・鹿児島市
- ・時期 令和2年10月6日（火）～8日（木）
- ・実施学年 第3学年（3学級 96名） 引率者10名
- ・日程概要
  - 1 日目：新大阪（新幹線）⇒熊本（バス）⇒益城町⇒日奈久温泉（クラス分宿）
  - 2 日目：日奈久温泉（バス）⇒知覧特攻平和会館⇒鹿児島市（宿泊）
  - 3 日目：鹿児島市内散策⇒鹿児島中央（新幹線）⇒新大阪

# 平和維持教育 ～いのちを考える学習～

校長 福島 清文  
学年主任 竹房 友規

## 大阪府 大阪市立大和川中学校

### ●学校紹介

本校は、昭和四七（一九七二）年に三稜<sup>さんりょう</sup>中学校の分校として設置され、昭和四八年に現在の校名、大阪市立大和川中学校として開校した。大阪市南部住吉区にあり、校名の「大和川」がすぐ近くを流れている。来年度、開校50周年を迎える学校である。

入学してすぐに宿泊オリエンテーションがあり、中学校生活について、授業の受け方、集団行動などのガイダンスを行っている。「時を守り、場を清め、礼を正す」をテーマに見童から生徒への意識改革を行い、授業規律の徹底に努めている。また情報教育推進校としてICT教育をさまざまな場面で活用し、2学期制を導入するなど新たな取り組みを多く取り入れている。



校舎外観

### School Data

【創立年】 昭和48（1973）年

【所在地】 大阪府大阪市住吉区遠里小野 2-11-4

【教育目標】

基礎基本の徹底を通して、自ら学ぶ態度を育て学力の向上を図る。

規範意識及び自己統制力の向上を図り、健康でたくましい心身の育成に努める。

【全校生徒数】 301名（各学年3学級、特別支援学級3学級）

【教職員数】 30名

### 実施要項

- 旅行先 熊本県益城町、熊本県八代市、鹿児島県南九州市
- 時期 令和2（2020）年10月6日（火）～10月8日（木） 2泊3日
- 参加生徒数 第3学年（3学級）96名
- 引率者 10名
- 日程概要

- |       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 【1日目】 | 新大阪（新幹線）—熊本（バス）—益城町—日奈久（宿泊） |
| 【2日目】 | 日奈久（バス）—知覧特攻平和会館—鹿児島市内（宿泊）  |
| 【3日目】 | 鹿児島市内散策—鹿児島中央駅（新幹線）—新大阪     |

## 目的地の選定にあたって

本校では、平成三〇（2018）年度から平和維持教育として、「いのちを考える学習」をテーマに南九州方面へ修学旅行に行っている。鹿児島県知覧特攻平和会館での平和維持学習と、熊本県益城町での震災学習、「いのちの学習」を継続して行っている。

宿泊施設に関しては、1日目はクラス分宿を行い学級での結束力を高め、2日目は全体泊で学年の親睦を深める取り組みを行えるように宿泊地を決めた。また、コロナ前の計画ではフェリーを使い3泊4日で実施する予定であったが、フェリーでの長時間の密を避けるため、新幹線での移動に変更した。

新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、旅行の時期は5月から7月、10月へと2度にわたり変更したが、目的地は変更することなく実施することができた。

## 活動内容

生徒の実行委員会が決めた修学旅行のテーマは、「いのちについて考える修学旅行（西郷な思い出を作るばい）」。1、2年生の時、先輩たちが修学旅行先からオンラインで実況中継してくれる姿、先輩たちの平和セレモニーの姿、修学旅行で学んできた先輩たちの文化発表会での劇を見ながら、自分たちも3年生になったら何か後輩に伝えるために修学旅行で学ぼうという意識が芽生えていた。

### ●重点を置いた活動

## ～集団「公」動（しゅうだんこうどう）～ 公けの場でも他者を意識して「考」動（こうどう） すること



文化発表 舞台「流れる雲よ」

### ●震災学習 益城町

2年生の時に東日本大震災を舞台にした学年劇を行った。震災のことを学ぶ中で、生かされた命の大切さや、命を守るための行動、防災の意識を学んだ。修学旅行では、実際の被災地を訪れ、活断層のスレや大蛇伝説、昔から地名に込められた先祖の知恵などを知ることができた。また、「地震のせい」ではなく「地震のおかげ」ととらえ、未来に向かって生きることの素晴らしさを教えていただいた。

### ●平和維持学習 知覧特攻平和会館

1年生の時に、3年生が行った文化発表会

での学年劇「いざ、知覧」を観て、特別攻撃隊のことを学んだ。2年生の時に、3年生が修学旅行先から現地での平和セレモニーを生中継で配信してくれた。事前学習では、知覧特攻平和会館の資料を使い戦争の背景や歴史を学んだ。当日は、知覧周辺の史跡を周り、講話を聞き、資料館の見学を行った。事前に調べた特攻隊の方の遺書を実際に見ることで命の大切さをより感じる事ができた。また、先輩たちと同じように平和セレモニーを中継配信し、文化発表会では3年生舞台劇「流れる雲よ」を演じ、学ぶことから伝えることへ継承することができた。

### ●班別散策 鹿児島市内

1年生の校外学習では、2年生と合同で班を組み大阪市内を回った。2年生では、1年生と一緒に大阪市内を巡りながら目的地まで行く校外学習を実施した。修学旅行の自主研修では、朝8時にホテルを出発し、12時50分に鹿児島中央駅に到着するおよそ5時間の自由時間をどう過ごすのか、班ごとに考えさせた。新型コロナウイルスの休校により、3年時には1人1台クロムブックが配布され、それを活用して班別の事前学習を行った。それぞれが訪問地の情報や、昼食場所などを調べることができ、直前にはGo Toトラベルの地域クーポンの使い方や使える店を調べることにも役立った。当日も班ごとにクロムブックを持ち、実行委員会が考えた課題を班で協力し問題を解きながら市内観光をすることができた。

●レクリエーション企画 大和川オリンピック  
ク(ヤマリンピック2020)

学年親睦を深める「ヤマリンピック」では、実行委員会が中心となり全員参加型のお座敷スポーツ大会を行った。2年時の1泊移住でも、学年の半分が実行委員会に立候補し、キャンドルファイヤーやクラススタンプで全員が楽しむことができた。その経験から、修学旅行のレクリエーションでも説明や演出も自分たちで行い、自分たちが楽しむだけではないのを楽しませるためにはどうすればいいのかを実行委員会で考えることができ、締めくくりには学年全員でフォークダンスのマイムマイムを踊ることができた。

事前学習

実行委員会では、①震災学習、②平和維持学習、③班別学習、④レクリエーションの



しおり表紙



ヤマリンピック

担当を決め、準備を進めた。震災学習では、事前に震災の被害や規模を調べて壁新聞を作り、全校生徒に呼びかけて義援金活動を行った。平和維持学習では、特攻隊員たちの紹介壁新聞を作った。

また、コロナ禍の中の活動のため、ルール作りに関しても今までの修学旅行とは違い、どんな場所で感染のリスクがあるのかを考え、移動時(新幹線バス)の注意点、宿舎での注意点と、行程に合わせて細かく感染対策を確認した。

コロナ対応

緊急事態宣言に伴う日程の変更を受け、夏休みに再度下見を行った。宿泊施設や飲食会場の感染症対策、鹿児島市内自主研修の飲食店や各店舗の利用状況も、改めて確認することができた。

一部屋の利用人数を減らすために宿泊場所を増やし、バスも3台から5台に増やし密を避けるよう旅行者とも調整を行った。GOTOトラベルで割安になった旅行費用は全額保護者に返金するとともに、地域クーポンを使うため、本来トイレ休憩だけの予定だったサービスイリアで土産物購入の時間をとった。定期的な検温、健康チェックを実施することで一人の体調不良者を出すこともなく

帰ってくることができた。

生徒の感想

・益城町で現地のガイドの方に教えてもらった「地震のせい」ではなく「地震のおかげ」という言葉がすごく印象に残った。この修学旅行も「コロナのせい」ではなく「コロナのおかげ」で周りの人や仲間の大切さ、ありがたさに気づけた気がしました。

・大阪でもいつか大きな地震が来ると言われていて、熊本の人から聞いた話を思い出して地震の備えをしたいと思います。

・地震のセレモニーで、鶴を渡した後にくまモンが出てくるタイミングが微妙やって、面白かった。でもくまモンと写真を撮れてよかった。

・特攻隊員の遺書を見て、まさに命懸けの言葉が印象的だったのと、字がすごく綺麗なことがびっくりしました。自分も魂をこめて綺麗な字を書こうと思った。

・特攻隊の話聞いて、家族や愛する人を守るために自分の命を犠牲にしたことがわかりました。命の大切さを改めて気づきました。

・僕がこの修学旅行で学んだことは「人のために行動する」ということです。平和学習では、日本の未来のために亡くなった方がたくさんいることを学びました。これからは自分も誰かのために行動できる人になりたいと思います。

・ヤマリンピックのクラススタンプでは、自分



益城町にて

本来なら、フェリーの船中泊を含めた3泊4日の修学旅行の予定だったが、コロナの影響で1日短くなったことはとても残念だった。修学旅行に向けた取り組みも、1年時から継続して行っていたため、行先の変更は考え

## まとめ

・僕はこの修学旅行で学んだ一番のことは、「公共の場での過ごし方」です。挨拶の仕方などを1年の時から頑張り、社会に出てでも大切なものになると思いました。

・Go Toトラベルのクーポンが8000円もあり、お土産選びがすごく大変だった。お小遣いを使わずにいらしたのでラッキーだった。

なかった。民泊ももちろん貴重な体験だとは思いますが、本校ではせつかくの3日間をできるだけ生徒と過ごす時間を多く取り、非日常の経験を、日常の学校生活に生かすことを目標に取り組んだ。

入学してすぐの宿泊オリエンテーションから、コロナに負けず、全力で取り組んだ修学旅行。集団で生活する中で他者を意識し、いろんな生徒の頑張る姿が輝いた修学旅行。無事に取り組めたことで、最後の帰校式では感極まるものがあった。目標にしていた「修学旅公」自分たちが楽しむだけでなく「公（おおやけ）」の場での過ごし方を考えられたことが、これからの生徒たちの人生にとって大きな財産になったことだろう。

が主役の劇をして、すべてを恥ずかしかったけど楽しかった。他の人たちも前に出て漫才とかして面白かった。今までは前に出て何かするのは恥ずかしかったけど、緊張せずに喋ることができた。

・クラススタッフが一番面白かったです。練習している時も、友達と試行錯誤している時も、修学旅行に行く前からずっとワクワクしていました。当日は自然災害の恐ろしさを学び、平和について学び、人間は多くの失敗をしてきたけれど二度と同じ過ちをしないように人から人へと受け継いでいかなければいけない。楽しみながらも大切なことが学べてよかったです。

・コロナで行けないと思っていたこともあるけど、この修学旅行に行けて本当によかった。現地の人や、旅行者の人や先生方、関わってくれた全ての人に感謝しています。

・市内散策の班はそこまで仲の良いチームで



折り鶴アート

はありませんでしたが、一緒に行動しているうちに少しはお互いのことを知れたと思います。自分たちで探してようやく行けたラーメン屋のラーメンはものすごくおいしかったのでおすすめです。

・平和祈念館へ贈る折り鶴アートのイラストを描く担当になった。自分はあるまじり乗り気ではなかったけど、やっていくうちに放課後にみんなのでワイワイした雰囲気楽しくなってきた。イラストが完成した時に、普段感じることのできなかった達成感があった。



文化発表 展示 ステンドグラス